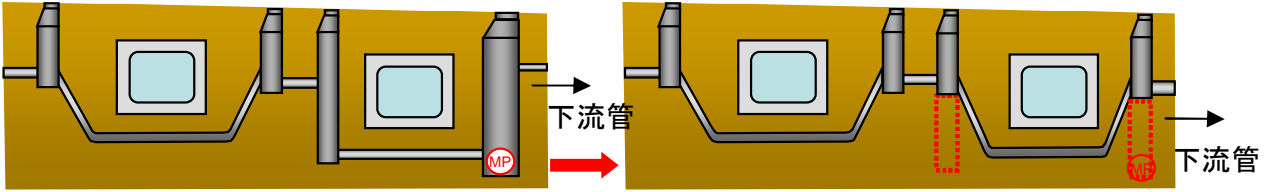


全国で社会実験中の各種の新技术（ローカルルールの実施）

クイックプロジェクト社会実験において
各種の技術を活用し、コスト縮減・早期供用を実現

改良型伏越しの連続的採用

★実施箇所★
愛知県半田市
熊本県益城町

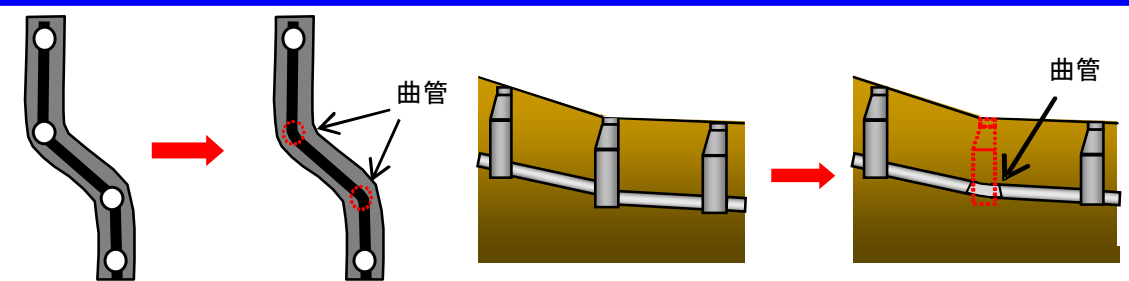


- 愛知県半田市 建設コスト→約70%縮減 建設工期→約60%短縮
- 熊本県益城町 建設コスト→約30%縮減 建設工期→約20%短縮

- 地下埋設物による土被り増加が抑制され、推進工法が開削工法となった。
- 土被りが浅くなり、下流側に計画していたマンホールポンプが不要となった。
- 橋梁添架による河川横断を改良型伏越しとすることにより、横断位置に制約がなくなり、管きよ延長が短縮された。

道路線形に合わせた施工の例

★実施箇所★
愛知県岡崎市
愛知県半田市
岡山県岡山市
熊本県宇城市



- 愛知県岡崎市, 半田市 建設コスト→約20%縮減 建設工期→約20%短縮

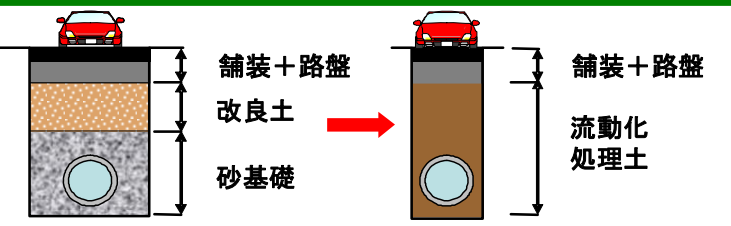


- 急勾配地形で、土被りが大幅に減少した。
- マンホールが省略できた。



未普及解消技術として一般化へ ～社会実験から生まれた新たな技術第1号～

流動化処理土の管きよ施工への利用



流動化処理土とは
土砂に泥水と固化材を加えて流動化させた土質安定処理土で、流し込み施工で隙間を充填し、固化後に発現する強度と高い密度により品質を確保する土工材料。

- 本技術の主なメリット**
 - 施工断面の縮小によるコスト縮減
 - 発生土の活用で発生土処分量を抑制
 - 狭隘な道路への施工に有利
 - 締固めが不要で埋戻しが容易
 - 液状化の心配がなく地震対策にも対応
- 社会実験の結果～静岡県浜松市～**
 - 建設コスト → 最大 約10%縮減
 - 建設工期 → 最大 約40%短縮

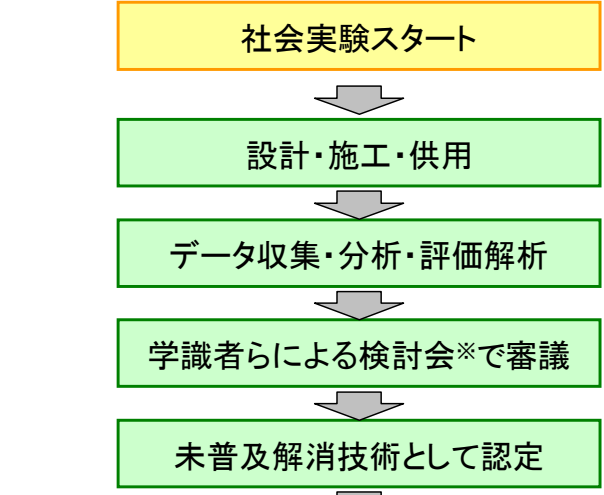


平成21年度末までにさらに検証を行い
多くの未普及解消技術を一般化していく予定です

QP 一般化のフロー

平成21年度に検証終了し、
一般化を目指している技術

- 管きよの露出配管
- 改良型伏越しの連続的採用
- 道路線形に合わせた施工
- 発生土の管きよ基礎への利用 など



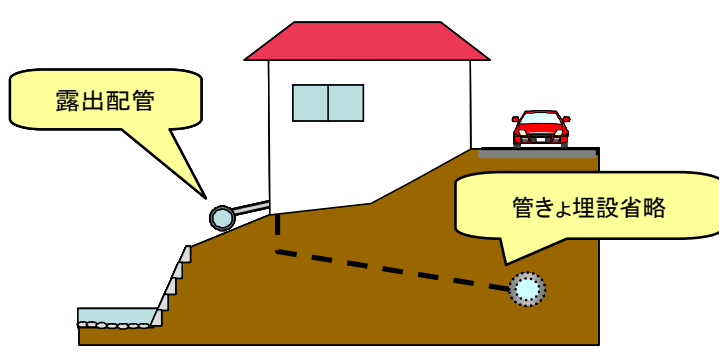
技術ガイドを作成の上、広く活用を呼びかけ
未普及解消の早期実現へ

※下水道未普及解消検討委員会
(委員長: 楠田哲也 北九州市立大学国際環境工学部教授)

本社会実験では、地方公共団体の実状を踏まえた各種の技術を検証中

★現在11市町で実施中★

管きよの露出配管



- ★実施箇所★
 岩手県二戸市
 福島県会津坂下町
 愛知県豊田市
 熊本県益城町
 鹿児島県日置市

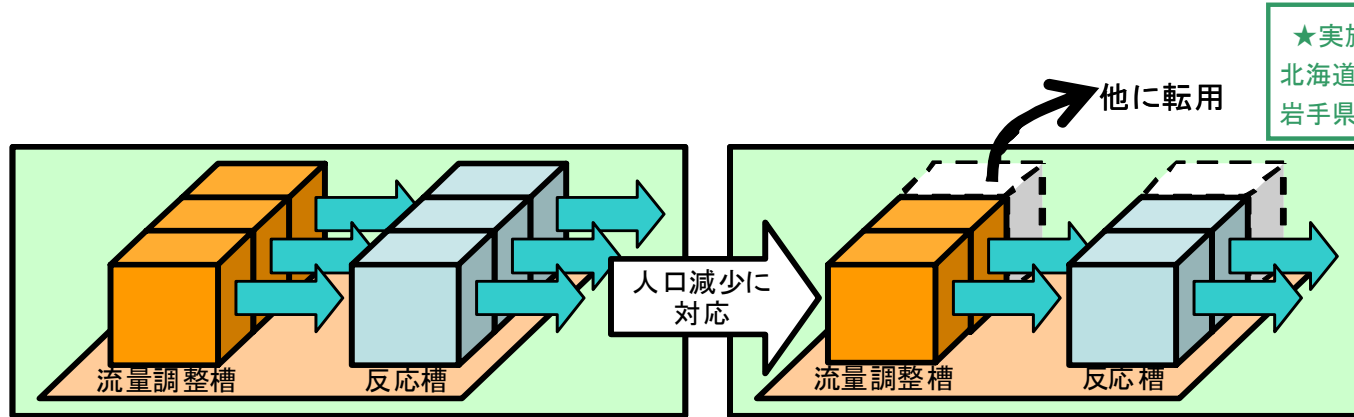
現地の様子(益城町)

民地占用

★益城町では露出配管対象区間で約80%コスト削減

- ・ 工事コストの縮減と工期の短縮
- ・ 施工困難箇所の解消

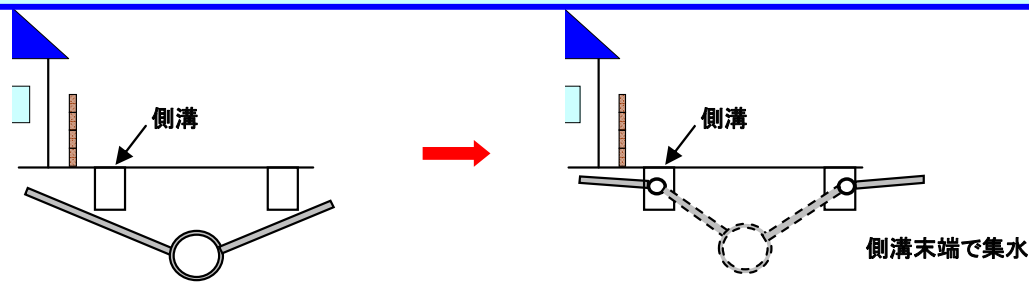
工場製作型極小規模処理施設



- ★実施箇所★
 北海道苫前町
 岩手県二戸市

- ・ ユニット化によるコストの縮減及び工期の短縮
- ・ 人口の変化に伴う汚水量の増減に機動的に対応

側溝を活用した下水道管きよ施工

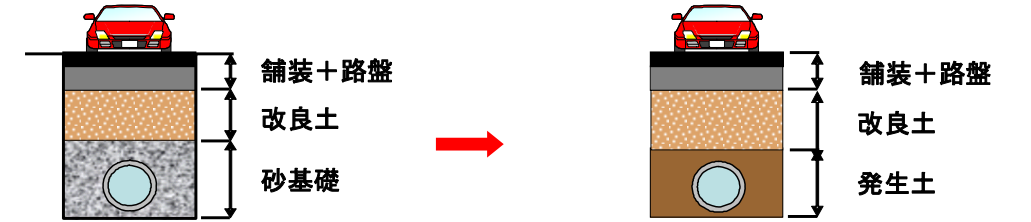


実施市町村募集中

- ・ 工事コストの縮減と工期の短縮
- ・ 管きよの維持管理が容易

発生土の管きよ基礎への利用

- ★実施箇所★
 愛知県半田市
 鹿児島県日置市



★半田市ではコスト、工期とも10%以上縮減

- ・ 発生土の再利用による発生土処分量の抑制

地域提案による汚水処理最適化

- ★実施箇所★ 静岡県浜松市

- ①未普及地域の特性を踏まえた効率的な汚水処理施設の整備
 - ・ 人口動向や新たな整備手法の導入を踏まえた下水道計画の見直し
 - ・ 機動的な整備手法を含めた効率的な段階的整備計画
- ②多数の処理区の統廃合
 - ・ 処理場やポンプ場の統廃合耐用年数を考慮した再編計画
- ③関連施設も含めた効率的な管理のあり方検討



期待!! 平成21年度新規採択予定都市

東京都 檜原村



檜原村長
坂本義次氏

檜原村は、東京湾の源流である秋川の清流など豊かな自然に恵まれ、「自然の宝庫」とも呼ばれています。下水道は、我が村の良好な環境を守り、村民の豊かな生活環境を創造するために不可欠な基盤であり、一日も早い普及が求められています。

しかし、当村には、狭小で急勾配の道路も多く、また、複数の沢が村内を流れており、それらを考慮の上、如何に効率的に下水道を敷設していくかが課題となっております。

当村の抱える課題への解決策として、今回、クイックプロジェクト社会実験に参加することとしました。国土交通省の技術的な支援も受けつつ、新たな技術を活用しながら、我が村に相応しい下水道の整備を、効率的かつ早急に行っていきたいと考えています。



現地の様子(檜原村)

斜面が多い等の実状を踏まえて、低コストな新技術の活用による下水道整備を検討中

各技術の詳細な内容は下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験のホームページをご参照ください。



下水道の社会実験

検索

<http://www.mifukyu.go.jp>